

## 資料 1. 調査団員氏名、所属

### < 基本設計調査時 >

杉山 光男	【総括】	国際協力事業団 ポリヴィア事務所 次長
杉江 拓也	【技術参与】	厚生労働省 大臣官房国際課国際協力室 国際協力専門員
小園 勝	【計画管理】	国際協力事業団 無償資金協力部 業務二課
井川 正博	【業務主任/建築計画】	株式会社 日本設計
伊藤 仁志	【建築計画】	株式会社 日本設計
長尾 直治	【構造計画】	株式会社 日本設計
岡田 有弘	【設備計画】	株式会社 日本設計
鈴木 誠	【機材計画 1】	株式会社 日本設計
中谷 浩三	【機材計画 2】	株式会社 日本設計
安田 隆文	【調達計画/積算】	株式会社 日本設計
玉井 京子	【医療体制整備計画/医療現状調査】	株式会社 エムイー企画
岡村 章夫	【通訳】	株式会社 日本設計
杉田 雅子	【医療体制整備計画/医療現状調査 補佐】	株式会社 エムイー企画

### < 基本設計概要説明調査時 >

永井 和夫	【総括】	国際協力事業団 ポリヴィア事務所 所長
垣本 和宏	【技術参与】	国立国際医療センター 国際医療協力部 派遣協力第二課 医師
小園 勝	【計画管理】	国際協力事業団 無償資金協力部 業務二課
井川 正博	【業務主任/建築計画】	株式会社 日本設計
伊藤 仁志	【建築計画】	株式会社 日本設計
鈴木 誠	【機材計画 1】	株式会社 日本設計
安田 隆文	【調達計画/積算】	株式会社 日本設計
岡村 章夫	【通訳】	株式会社 日本設計

資料2. 調査日程

基本設計調査日程

日数	月日	曜日	日程
1	2/12	月	成田 ニューヨーク マイアミ
2	2/13	火	ラパス 午前 JICA ポリビア事務所表敬 午後 ラパス母子センター視察
3	2/14	水	午前 保健年金省表敬、大蔵省表敬 午後 日本大使館表敬、スペイン協力局と協議
4	2/15	木	07:30 コチャバンバへ移動 午前 コチャバンバ市役所表敬、ヘルマンウルキジ病院表敬 午後 コチャバンバ県庁表敬、ヘルマンウルキジ病院調査
5	2/16	金	午前 ヘルマンウルキジ病院・コチャバンバ保健所調査、 保健所予定敷地調査（2ヶ所） 午後 保健所予定敷地調査（1ヶ所）
6	2/17	土	団内打合せ、資料整理
7	2/18	日	資料整理
8	2/19	月	午前 病院との協議（施設計画、医療機材、医療現状・体制） 午後 病院との協議（施設計画、医療機材、医療現状・体制）
9	2/20	火	午前 病院との協議（施設計画、医療機材、医療現状・体制） 午後 病院との協議（施設計画、医療機材、医療現状・体制） 現地再委託説明（3社）
10	2/21	水	午前 病院との協議（施設計画、医療機材、医療現状・体制） 午後 病院との協議（施設計画、医療機材、医療現状・体制）
11	2/22	木	午前 病院との協議（施設計画、医療機材、医療現状・体制） 午後 病院との協議（施設計画、医療機材、医療現状・体制）
12	2/23	金	午前 病院との協議（施設計画、医療機材、医療現状・体制） 現地再委託契約打合せ 午後 病院との協議（施設計画、医療機材、医療現状・体制） 現地再委託予定者と現地説明
13	2/24	土	既存建物構造調査、資料整理
14	2/25	日	団内打合せ、資料整理
15	2/26	月	既存建物構造調査、資料整理
16	2/27	火	午前 病院との協議 午後 病院との協議
17	2/28	水	午前 病院との協議 午後 病院との協議、現地再委託
18	3/ 1	木	計画内容協議（建築計画、専門家派遣、IVA 免税）、医療現況調査団員帰国
19	3/ 2	金	調達積算団員合流、計画内容協議（機材計画、IVA 免税）
20	3/ 3	土	午前 団長合流、団内打合せ
21	3/ 4	日	午前 計画対象サイト視察（保健所）
22	3/ 5	月	午前 計画対象サイト視察（ビートル病院団地） 午後 ミッツ協議
23	3/ 6	火	午前 団内打合せ、資料整理 15:30 ミッツ署名（保健年金省大臣、コチャバンバ市長） 官団員、業務主任、通訳 コチャバンバ（19:00）ラパス（19:30）：LB816 便 その他の調査団員 施設計画案作成、積算資料収集、医療機材協議

日数	月日	曜日	日程
24	3/ 7	水	官団員、業務主任、通訳 08:00 ラパス母子保健病院視察 09:30 ミッツ署名（公共投資・外国融資次官） 20:00 業務主任、通訳 サンタクルスへ移動 その他の調査団員 施設計画案作成、積算資料収集、医療機材協議 20:00 建築設計担当、積算担当 サンタクルスへ移動
25	3/ 8	木	医療機材担当 医療機材協議 その他の団員 資材調達調査、現地資材調査
26	3/ 9	金	医療機材担当 医療機材協議 その他の団員 資材調達調査、現地資材調査
27	3/10	土	医療機材担当 医療機材協議 その他の団員 資材調達調査、現地資材調査 16:00 業務主任、建築設計担当、積算担当、通訳 コチャバンバへ移動
28	3/11	日	資料整理、施設計画案作成
29	3/12	月	午前 団内打合せ 午後 病院との協議（組織、運営等）
30	3/13	火	終日 病院との協議（施設計画案、医療機材） 午後 積算担当のみ現地施工者ヒアリング
31	3/14	水	午前 病院との協議（施設計画案、医療機材） 午後 医療機材担当 病院との協議 その他の団員 現地資材視察
32	3/15	木	午前 施設計画案、医療機材計画のまとめ 業務主任、積算担当 現地施工者ヒアリング 午後 病院との協議（施設計画案、医療機材）
33	3/16	金	午前 病院との協議内容のまとめ 資料整理 午後 テクニカルメモランダム署名
34	3/17	土	08:00 ラパスへ移動 午後 団内打合せ
35	3/18	日	団内打合せ、資料整理
36	3/19	月	午前 大使館、JICA 調査報告 午後 ラパス母子病院視察、ヒアリング
37	3/20	火	ラパス マイアミ ニューヨーク
38	3/21	水	ニューヨーク
39	3/22	木	成田

基本設計概要説明調査日程

日数	月日	曜日	日程
1	7/23	月	成田 ニューヨーク マイアミ
2	7/24	火	ラパス 午前 JICA ポリビア事務所表敬、保健年金省表敬 午後 JICA ポリビア事務所で打合せ、大蔵省表敬
3	7/25	水	コチャバンバへ移動 午前 コチャバンバ市役所表敬、ヘルマンウルキジ病院表敬 午後 病院との協議（基本設計概要書の概略説明）
4	7/26	木	午前 病院との協議（基本設計概要書の説明） 午後 病院との協議（施設計画、医療機材）
5	7/27	金	午前 病院との協議（建築計画、構造計画、医療機材） 午後 病院との協議（機械設備計画、電気設備計画、医療機材）
6	7/28	土	午前 病院との協議（施設計画、医療機材、医療現状・体制、IVA 免税） 午後 団内打合せ
7	7/29	日	資料整理
8	7/30	月	午前 官団員合流、病院との協議（医療機材） 計画対象サイト視察（ビ・I・マ病院団地） 午後 計画対象サイト視察（ビ・I・マ病院団地） 病院との協議（基本設計概要書の確認、医療機材）
9	7/31	火	午前 病院との協議（ミニッツ、医療機材） 午後 病院との協議（ミニッツ、医療機材）
10	8/ 1	水	午前 団長合流、計画対象サイト視察（ビ・I・マ病院団地） 病院との協議（医療機材） 午後 計画対象サイト視察（保健所） 病院との協議（医療機材）
11	8/ 2	木	午前 病院との協議（ミニッツ、医療機材） ミニッツ署名 午後 病院との協議（施設計画、医療機材、医療現状・体制） 官団員、コチャバンバ ラパス
12	8/ 3	金	午前 病院との協議（施設計画、医療機材、医療現状・体制） 午後 病院との協議（施設計画、医療機材、医療現状・体制）
13	8/ 4	土	午前 病院との協議（施設計画、医療機材、医療現状・体制） 午後 団内打合せ
14	8/ 5	日	午前 ラパスへ移動 午後 資料整理
15	8/ 6	月	資料整理
16	8/ 7	火	午前 JICA 報告 午後 資料整理
17	8/ 8	水	ラパス マイアミ ニューヨーク
18	8/ 9	木	ニューヨーク
19	8/10	金	成田

### 資料3. 相手国関係者リスト

#### 1) ボリヴィア政府関係者

保健年金省	Dra. Teresa Rivero Grecio	国際関係局コーディネーター
	Lic. Gualberto Rodriguez San Martin	国際関係局長
大蔵省	Dr. Victor Hugo Bacarrega	渉外局長
	Dra. Maria Eugenia Jurado	外国融資アナリスト
コチャバンバ県庁	Dr. José Arias Arredonde	県長
	Dr. Freddy Covarrables R.	インフラ局長
コチャバンバ市役所	Dr. Gonzalo Terceres Rojas	市長
	Arq. Juan José de la Fuente	プロジェクトコーディネーター
	Arq. Ana Santa Cruz	建築計画
	Ing. Pablo Hinojosa	構造エンジニア
	Ing. Sandro Garcia	電気エンジニア
	Ing. Cinthia Fernández	衛生エンジニア
	Dra. Maria Elena Parrilla	国際関係局長
	Dr. Mario Gómez Calroz	保健医療局局長
	Dra. Ruth Carvallo Soria	保健医療局 保健所責任者
	Arq. Alvaro Urdininea	ピエトマ病院工事監理者
	Lic. Oscar Tavel	文化課 課長
	Lic. Enrique Nagel	財務管理課 課長
	Lic. Maria Elena Parrilla	国際関係長
	Lic. Edgar Gandarillas	財務局長
	Ing. Arturo Coca	財務部長
	Prof. René Toledo	顧問
	Dr. Vladimir Pope	顧問
	Arq. Manuel Prado	計画課 課長
	Lic. Janeth Rios	予算課 課長
	Dra. Rina Maiz	ジャーナリスト
	Dr. M. Alfredo Perez	南部保健行政局長
スペイン国際協力事業団	Dr. José Luis Baixeras	保健医療分野コーディネーター
ピエトマ病院団地	Dr. Jimmy Montaña del Granado	総長
	Dr. Oscar Ferrufino	前総長
	Dr. Jenny Almanza Arandia	事務長
	Dr. Ricardo Céspedes	医療プランナー
	Lic. Emilia Medrano	看護婦
	Dra. Ivonne Silvia Pozo	医療翻訳者
	Dra. Jorge Durán	治療士
	Sra. Claudia Santiveñez Ramallo	ピエトマ総合病院関係者

Dra. Wilma Torrico Vega

ヘルマンウルキジ母子病院院長  
(基本設計調査時)

Dr. Angel Maida Terceros

ヘルマンウルキジ母子病院院長  
(基本設計概要説明調査時)

Dr. Rommel Pereira F.

ヘルマンウルキジ母子病院 外科医

Dr. Oscar Romero C.

ヘルマンウルキジ母子病院 外科医

Dr. J. Alberto Corrales

ヘルマンウルキジ母子病院 小児科医

Dra. Rosalla Sejas L.

ヘルマンウルキジ母子病院 小児科医

## 2) 日本政府関係者

日本大使館

木本 博之

大使

山本 哲史

参事官

下川 富夫

一等書記官

小野 孝幸

二等書記官

水口 尚恵

二等書記官

Lic. Jorge Omoya Benitez

館員

JICA 事務所

永井 和夫

所長

杉山 光男

次長

木村 聡

所員

吉田 充夫

企画調査員

Lic. Carlos Omoya

所員

資料 4. 当該国の社会経済状況 (国別基本情報抜粋)

	ボリヴィア共和国
	Republic of Bolivia

一般指標					
政体	立憲共和制	*1	首都	ラパス (憲法上はスクレ)	*2
元首	大統領 / ホルヘ・キロガ	*1,3	主要都市名	ラパス、サンタクルス、コチャバンバ	*3
独立年月日	1825年8月6日	*3,4	雇用総数	3,180千人 (1998年)	*6
主要民族 / 部族名	ケチュア人30%、アイマラ人25%、混血30%	*1,3	義務教育年数	8年間 ( )	*13
主要言語	スペイン語、ケチュア語、アイマラ語	*1,3	初等教育就学率	% (1997年)	*6
宗教	カトリック教	*1,3	中等教育就学率	% (1997年)	*6
国連加盟年	1945年11月14日	*12	成人非識字率	14.4% (2000年)	*13
世銀加盟年	1945年12月27日	*7	人口密度	7.33人/km <sup>2</sup> (1998年)	*6
IMF加盟年	1945年12月27日	*7	人口増加率	2.2% (1980年)	*6
国土面積	1,098.58千km <sup>2</sup>	*1,6	平均寿命	平均61.80 男60.20 女63.60	*10
総人口	7,950千人 (1988年)	*6	5歳児未満死亡率	78/1000 (1988年)	*6
			カロリー供給量	2,174.0cal/日/人 (1997年)	*10

経済指標					
通貨単位	ボリビアーノ (Boliviano)	*3	貿易量	(1999年)	
為替レート	1 US \$ = 6.71 (2001年9月)	*8	商品輸出	1,051.1 百万ドル	*15
会計年度	Dec. 31	*6	商品輸入	-1,539.1 百万ドル	*15
国家予算	(1998年)		輸入カバー率	5.6 (月) (1998年)	*14
歳入総額	8,300.8 百万ボリビアーノ	*9	主要輸出品目	宝飾品、金、亜鉛、大豆、錫、木材、砂糖	*1
歳出総額	10,339.8 百万ボリビアーノ	*9	主要輸入品目	機械、鉄鋼、自動車、電気製品	*1
総合収支	-41.8 百万ドル (1999年)	*15	日本への輸出	16 百万ドル (1999年)	*16
ODA受取額	628.1 百万ドル (1998年)	*18	日本からの輸入	48 百万ドル (1999年)	*16
国内総生産 (GDP)	8,586.39 百万ドル (1998年)	*6			
一人当たり GNP	1,010.0 ドル (1998年)	*6	粗外貨準備額	1,155.0 百万ドル (1998年)	*6
GDP 産業別構成	農業 15.4% (1998年)	*6	対外債務残高	6,077.5 百万ドル (1998年)	*6
	鉱工業 28.7% (1998年)	*6	対外債務返済率 (DSR)	30.2% (1998年)	*6
	サービス業 55.9% (1998年)	*6	インフレ率	10.0%	*6
産業別雇用	農業 男 2.1% 女 2.0% (1992年)	*6	(消費者価格物価上昇率)	(1990 - 98年)	
	鉱工業 39.8% 15.8% (1992年)	*6			
	サービス業 58.1% 82.1% (1992年)	*6	国家開発計画		
実質 GDP 成長率	4.2% (1990年)	*6			*11

気象 (1961年~1989年平均) 観測地: ラパス (南緯 16 度 31 分、西経 68 度 11 分、標高 4,071m)														*4,5
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均 / 計	
降水量	152.1	106.2	91.7	39.7	17.4	4.3	8.8	17.3	29.6	38.0	54.9	108.0	668.0 mm	
平均気温	9.2	9.0	8.8	8.8	8.3	7.3	6.9	8.2	8.7	10.1	10.6	9.7	8.8	

\*1 各国概況 (外務省)  
 \*2 世界の国々一覧表 (外務省)  
 \*3 世界年鑑 2000 (共同通信社)  
 \*4 最新世界各国要覧 10 訂版 (東京書籍)  
 \*5 理科年表 2000 (国立天文台編)  
 \*6 World Development Indicators 2000  
 \*7 The World Bank Public Information Center, International Financial Statistics Yearbook 1998  
 \*8 Universal Currency Converter

\*9 Government Finances Statistics Yearbook 1999 (IMF)  
 \*10 Human Development Report 2000 (UNDP)  
 \*11 County Profile (EIU), 外務省資料等  
 \*12 United Nations Member States  
 \*13 Statistical Yearbook 1999 (UNESCO)  
 \*14 Global Development Finance 2000 (WB)  
 \*15 International Finances Statistics 2000 (IMF)  
 \*16 世界各国経済情報ファイル 2000 (日本貿易振興会)  
 注: 商品輸入については複式名簿の計上方式を採用しているため  
 支払い額はマイナス表記になる

	ボリヴィア共和国
	Republic of Bolivia

我が国における ODA の実績 (資金協力は約束額ベース、単位：億円) *17					
項目 \ 暦年	1995	1996	1997	1998	1999
技術協力	29.85	23.13	24.43	26.75	
無償資金協力	50.31	50.39	19.99	29.01	
有償資金協力	117.38	0.00	304.49	0.00	
総 額	197.54	73.52	348.91	55.76	

当該国に対する我が国 ODA の実績 (支出純額、単位：百万ドル) *17					
項目 \ 暦年	1995	1996	1997	1998	1999
技術協力	31.21	22.00	20.76	18.99	
無償資金協力	56.86	59.19	44.17	25.18	
有償資金協力	5.21	16.85	0.07	-2.80	
総 額	93.28	98.03	64.99	41.38	

OECD の諸国の経済協力実績 (支出純額、単位：百万ドル) *18					
	贈与(1) (無償資金協力・技術協力)	有償資金協力 (2)	政府開発援助 (ODA) (1) + (2) = (3)	その他政府資金 及び民間資金(4)	経済協力総額 (3) + (4)
二国間援助 (主要供与国)	373.6	42.6	416.2	232.6	648.8
1. United States	83.8	8.5	92.3	75.1	167.4
2. Netherland	67.5	0.0	67.5	7.8	75.3
3. Germany	46.2	15.7	61.9	5.1	67.0
4. Japan	44.2	-2.8	41.4	-15.1	26.3
多国間援助 (主要援助機関)	43.7	168.1	211.8	-85.8	126.0
1. IDB			84.8	-62.8	22.0
2. IDA			81.9	0.0	81.9
その他					
合 計	417.3	210.8	628.1	146.7	774.8

援助受入窓口機関 *19
技術協力：大蔵省公共投資次官室 無 償：大蔵省公共投資次官室 協 力 隊：大蔵省公共投資次官室

\*17 我が国の政府開発援助 1999 (国際協力推進協会)

\*18 International Development Statistics (CD-ROM) 2000 OECD

\*19 JICA 資料